

認定調査補助票（認定調査員Ver.2）【一部抜粋】

調査日：平成 年 月 日（ ）

調査員所属事業所：

調査員氏名：

基本調査

〔第1群：身体機能・起居動作〕

項目	評価軸	選 択 肢（調査の視点、留意事項）	確認
第1群 共通		<p>可能な限り、実際に動作等を行ってもらう。 実際に行ってもらった状況と日頃の状況とが異なる場合（または、実際に行ってもらえなかった場合は、一定期間（調査日より概ね過去1週間）の状況において、より頻回な状況に基づき選択する。</p> <p>福祉用具（補装具や介護用品等）や器具類を使用している場合は、使用している状況で選択する。</p>	
(1-1~2) 共通		<p>《確認動作を行ってもらった場合》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人または家族の同意の上、ゆっくり動かして確認動作の実施をする。 ・対象者が痛みを訴える場合は動作の確認を中止し、そこまでの状況で選択する。 <p>《確認動作を行ってもらえない場合》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険と判断される場合は確認は行わない。 ・理由や状況を具体的に聞き取り、日頃の状況で選択する。 ・「欠損」がある場合は、動作が行えない部位の選択肢と「その他」を選択する。 	
(1-1) 麻痺等	有無 (能力と 同じ)	<p>1. ない 2. 左上肢 3. 右上肢 4. 左下肢 5. 右下肢 6. その他(四肢の欠損)</p> <p style="text-align: right;">【確認動作】</p> <p>上肢：肘関節を伸ばしたまま、腕を自分で持ち上げ、静止した状態で保持。 座位の場合、前方及び横(仰臥位では、前方頭上)</p> <p>下肢：膝を伸ばす動作により、下肢を水平位置まで持ち上げ、静止した状態で保持。 大腿部が椅子や枕(仰臥位の場合)から離れないこと。</p> <p>その他：上肢、下肢以外に麻痺等がある場合、具体的な部位と状況について確認する。</p> <p>【状況】思うように動かせないところ、しびれているところはあるか。</p>	
(1-2) 拘縮	有無 (能力と 同じ)	<p>1. ない 2. 肩関節 3. 股関節 4. 膝関節 5. その他(四肢の欠損)</p> <p style="text-align: right;">【確認動作】</p> <p>肩：前方あるいは横のいずれかに可動域制限があれば選択する。</p> <p>股：屈曲(90度)または外転(膝の内側を25cm離す)のいずれかに可動域制限があれば選択する。</p> <p>膝：伸展もしくは屈曲方向のいずれかに可動域制限があれば選択する。</p> <p>その他：肩関節、股関節、膝関節以外に拘縮や可動域制限がある場合、具体的な部位と状況について確認する。</p> <p>90度程度曲がれば「制限なし」となるため、必要以上に動かさないようにする。</p> <p>【状況】関節で、痛みや腫れがあり、動かしにくいところはあるか。</p>	